

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成30年1月25日 (2018.1.25)

【公開番号】特開2016-117213(P2016-117213A)

【公開日】平成28年6月30日 (2016.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2016-039

【出願番号】特願2014-258272(P2014-258272)

【国際特許分類】

B 2 9 C 47/88 (2006.01)

B 2 9 C 47/14 (2006.01)

B 2 9 C 47/92 (2006.01)

G 0 2 B 1/04 (2006.01)

B 2 9 K 33/00 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

【 F I 】

B 2 9 C 47/88 Z

B 2 9 C 47/14

B 2 9 C 47/92

G 0 2 B 1/04

B 2 9 K 33:00

B 2 9 L 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月7日 (2017.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂フィルムの製造方法であって、

(1) ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂を用いてフィルムを製膜する工程 ; 及び

(2) 上記ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂のガラス転移温度よりも 20 低い温度以上、

かつ上記ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂のガラス転移温度よりも 10 高い温度以下において、

3 分間以上アニールする工程 ; を含む方法。

【請求項 2】

上記工程 (1) が、

(A) 押出機と T ダイとを備える装置を用い、T ダイから、ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂の溶融フィルムを、連続的に押出す工程 ;

(B) 回転する又は循環する第一の鏡面体と、回転する又は循環する第二の鏡面体との間に、上記ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂の溶融フィルムを供給投入し、押圧する工程 ; 及び、

(E) フィルムを上記第一の鏡面体に抱かせて次の移送ロールへと送り出す工程 ; を含み、ここで

(F) 第一鏡面体の表面温度を、第二鏡面体の表面温度よりも高くすること ;

を特徴とする工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

上記工程 (1) が、

(A') 押出機と T ダイとを備える共押出装置を用い、第一ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂層 (1) ; 芳香族ポリカーボネート系樹脂層 () ; 第二ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂層 (2) ; が、この順に直接積層された透明多層フィルムの溶融フィルムを、T ダイから連続的に共押出する工程 ;

(B') 回転する又は循環する第一の鏡面体と、回転する又は循環する第二の鏡面体との間に、上記透明多層フィルムの溶融フィルムを供給投入し、押圧する工程 ; 及び、

(E') フィルムを上記第一の鏡面体に抱かせて次の移送ロールへと送り出す工程 ; を含み、ここで

(F') 第一鏡面体の表面温度を、第二鏡面体の表面温度よりも高くすること ;

を特徴とする工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂フィルムの面の上に透明導電性膜が形成された導電性フィルムの製造方法であって、上記ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂フィルムを請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の方法で製造する工程を含む方法。

【請求項 5】

ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂フィルムの面の上に透明導電性膜が形成された導電性フィルムであって、上記透明導電膜の表面抵抗率が $1.2 \times 10^{-4} \text{ } \Omega / \text{sq}$ 以下である導電性フィルム。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の導電性フィルムを含む画像表示装置部材。